

議会だより

70

のとちょう

2022.11.1



子どもたちの
心豊かな成長を願って

新議員紹介	2-3
新型コロナワクチン5回目接種の 体制整備費などを補正 9月定例会議・7月会議	4-5
一般質問	6-13
決算特別委員会	14
議案をチェック	15
常任委員会レポート	16
議会と語ろう会	17
主な議会活動	18
まちかどインタビュー 編集後記	18



新議員の紹介

任期満了に伴う能登町議会議員選挙は10月18日告示され、定数14に対し、現職12人、新人1人、元職1人の計14人が立候補し無投票で全員が当選しました。任期は令和4年11月1日から4年間となります。

議長及び副議長、常任委員会などの組織については、11月中に初議会を開会し決定する予定です。



どうまえ としあき
堂前 利昭

当選回数／2回
能登町字五郎左エ門分



よしだ よしのり
吉田 義法

当選回数／2回
能登町字国重



おうら はじめ
小浦 肇

当選回数／1回
能登町字崎山

令和4.11.1現在



みなみ まさはる
南 正晴

当選回数／5回
能登町字鈴ヶ嶺



きんしち ゆうたろう
金七 祐太郎

当選回数／4回
能登町字松波



たばた ゆういち
田端 雄市

当選回数／3回
能登町字真脇



ばば ひとし
馬場 等

当選回数／3回
能登町字鶴川



かわだ のぶあき
河田 信彰

当選回数／6回
能登町字藤波



さけもと のりこ
酒元 法子

当選回数／5回
能登町字宮地



しょうじ まさとし
小路 政敏

当選回数／5回
能登町字越坂



いちほま ひとし
市濱 等

当選回数／5回
能登町字新保



かじや しんいち
鍛治谷 眞一

当選回数／6回
能登町字宇出津



しこう しょうらい
志幸 松栄

当選回数／6回
能登町字宇出津



むかいとうげ たかと
向峠 茂人

当選回数／6回
能登町字当目

○町議会とは

能登町などの地方公共団体は、憲法や地方自治法の規定に沿って、議会を設置しています。これは、住民がその地域の行政を自分たちの手で行うという地方自治の本旨に基づいたものです。

能登町では、選挙で選ばれた14名の町議会議員が、町民を代表して条例の制定や改廃、予算・決算など町政の基本的な事柄について話し合い決めていく場です。

○審議の流れ

町議会には、年4回（3月、6月、9月、12月）定期的に開かれる「定例会議」と必要に応じて開かれる「随時会議」があります。

町議会に提出された議案や請願は、本会議に提案された後、関係する委員会に付託され、審議が行われて最終的に本会議で議決されます。

○本会議

全議員が議場に集まり、町長から提案された議案などを審議したうえで、議会の意思を最終的に決定します。

本会議では、議案質疑のほか、町政全般に対する一般質問が行われ、活発な議論を展開しています。

○常任委員会

より効率的・専門的に審査するため、総務産業建設常任委員会と教育厚生常任委員会を設置し、予算などの議案や町民から提出された請願の審査のほか、所管事務の調査を行っています。

○町議会の傍聴

年4回定期的に開かれる定例会議と必要に応じて開かれる随時会議は、誰でも傍聴できます。議会では、1人でも多くの町民の皆さんが傍聴され、議会活動を通じて町政に対する理解を深め、参加されることを望んでいます。

接種の体制整備費のほか、 費などを補正

制整備費をはじめ、6月の能登地方を震源とする地震や7月の豪雨による災害復旧費

令和4年度一般会計予算総額は153億9917万円に。

主な補正予算

- 総務費
 - ・旧小木幼稚園解体工事費を追加
 - ・小型除雪機購入費の助成事業を増額
- 衛生費
 - ・新型コロナワクチンの4回目接種の対象者拡大分と5回目接種の体制整備に係る所要経費を追加
- 教育費
 - ・白丸公民館解体工事費を追加
- 災害復旧費
 - ・6月に発生した能登地方を震源とする地震、7月の豪雨による災害復旧費を追加



ワクチン接種（イメージ）



農地災害（当日地内）

令和4年第6回能登町議会9月定例会議を9月2日から14日にかけて開会し、町長提出議案22件、決算の認定7件が提出された。議案は令和4年度の補正予算のほか条例改正などであり、各常任委員会（決算特別委員会）

により審査し全議案を可決及び認定した。また陳情（生産資材高騰対策に関する緊急要請書）1件を上程し採択した。12日には9人の議員が町政全般について一般質問を行った。

その他の主な議案

- 職員^の定年等に関する条例の一部を改正する条例
 - ・地方公務員法の一部改正により、職員の定年の年齢を65歳とし、令和5年度から2年に1歳ずつ引き上げるため規定

陳情

『生産資材高騰対策に関する緊急要請書』

○要旨：コロナの影響等による米の需要減少に伴い、米の価格低下など厳しさを増しており、さらには深刻なウクライナ情勢により原油や肥料原料価格が急騰している。農業者が将来展望を持って生産に取り組むことができ、農業所得が確保できるよう要請する。

新型コロナウイルス5回目 地震や豪雨による災害復旧

新型コロナウイルス接種に係る費用として4回目接種の対象者拡大分と5回目接種の体などを補正した。

一般会計補正予算に1億8165万1千円を追加して、

7月会議

令和4年7月28日に『令和4年第5回能登町議会7月会議』を開会し、町長より一般会計補正予算及び請負契約の締結が提出され可決した。

○令和4年度 能登町一般会計補正予算（第2号）

原油価格高騰により影響を受けた特用林産物生産者・漁業者・運送業者に対し支援をするほか、物価高騰対策としてプレミアム付商品券、キャッシュレス決済によるポイント還元事業費を補正し可決した。



プレミアム商品券

○請負契約の締結

議案第52号 能登町立宇出津小学校トイレ改修工事

(株)鼎建設 代表取締役 小間 望

議案第53号 能登町立松波小学校トイレ改修工事

(株)西中建設 代表取締役 西中 順治



燃油高騰（イメージ）

令和4年第5回7月会議の審議結果

（賛否が分かれたもののみを掲載します）

賛成 ○、反対 ×、欠席 欠、— 議長は採決に参加しません。

結果 可否	議案	議員名												
		吉田 義法	堂前 利昭	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	國盛 孝昭	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	宮田 勝三
可決	議案第52号 請負契約の締結について	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
可決	議案第53号 請負契約の締結について	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○

いっぱん質問

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

9月定例会議の一般質問（12日）

問 新型コロナ対策の周知徹底を図れ

答 周知徹底に努める



吉田 義法 議員

問 ①ワクチン接種状況を示せ。5歳から11歳の接種が努力義務に適用されるにあたり対応を。
②病院の対応は一定していなければならない。知識や情報、マニュアル等の周知徹底を。また、病院職員のケアを図れ。
③最近、町内で感染者が増えている。町としても対策を。また、症状の有無による受診や検査、簡易キット等で陽性が判明した場合の対応など周知を図れ。

答 健康福祉課長
①9月1日現在で1回目、2回目（5歳以上）の接種率は90%を超えている。3回目（12歳以上）の接種率は85・9%、4回目（60歳以上と18歳から60歳未満の基礎疾患がある方、医療従事者など）は

18才以上の人口に対し、49・6%。5歳から11歳の接種に努力義務が適用されることについては、個別案内や広報でお知らせする。

答 宇津病院事務局長
②対応に差があったと認識している。一定性を確保するため周知徹底する。第7波が到来し7月18日以降は常に入院患者がい

問 中学校部活動の地域移行を図れ

答 休日の部活動について協議

る状態。コロナ患者に対応した職員には手当を支給している。

答 町長
③防災行政告知放送、有線テレビ等で感染防止対策について注意喚起を行う。また、簡易キットで陽性となった場合は、かかりつけ医や最寄りの医療機関に連絡を。これも広報紙で周知する。

問 ①子ども議会での中学校の部活動についての質問があった。少子化により部員数や運動部数が減少しており、練習内容の充実や大会に出場するための方策として、町営クラブが提案された。町営クラブの運営が難しい理由について具体的に答弁されていない。改めて答弁を求め。

答 教育長
①指導者や人件費、運営に関する財源の確保等が難しく、マネジメントも必要で現実的な方策ではないと考える。

②運動部活動の地域移行は少子化や教師の働き方改革を目的とし、目標時期は令和5年度から7年度とある。教職員や保護者、既存団体である体育

協会やスポーツ少年団等との連携が必要だ。町の見解は。

②中学生にとって最善となる方策について地域スポーツ団体、学校等の関係者で構成する協議会を設置し検討する。まずは休日の部活動の地域移行を協議する。

問 その他質問

子ども議会はユーモアを持って

答 答弁は具体的な内容を親しみやすい言葉で力強く暖かく優しく、そしてユーモアを持って行うべきだ。また、中学生議会へ名称変更を提案する。

答 教育長
町の議会と同じスタイルで実施してこそ、生徒に伝わるものも大きいと考える。名称は親しみがあり定着している観点から、町の政治の仕組みを理解するための学習活動の一環として、子ども議会の名称で続けたい。



子ども議会



馬場 等 議員

問 能登町全域避難指示の理由は

答 町全域で土砂災害への危険性大

問 避難指示を出した4つの市町のうち、七尾市、志賀町、輪島市が地区を限定して出している。なぜ、能登町だけ全域に避難指示を出したのか。

答 町長 8月20日に発表された土砂災害警戒情報では、レベル4相当の警戒すべき地区として12地区、レベル3として4地区との情報があり、当町全域で土砂災害の危険性が高まっていると判断し、全域を対象とした。

問 避難所開設数は適切か

答 準広域避難所で対応可能と判断

問 準広域避難所である、15公民館の避難所の最大受け入れ可能人数は3763人であり、災害用備蓄品の数も少ない。全域に避難指示を出すのであれば、指定避難所全部を開設すべきではないか。

答 町長 避難指示は、危険な場所から全員避難することであり、地域の全住民に避難を指示するものではない。収容人数や備蓄品については準広域避難所に対応可能と判断し、広域避難所の開設は行わなかった。



防災備蓄倉庫

問 その他質問

「いざれ祭り」開催の判断は 能登町全域に避難指示が出されている中で、「いざれ祭り」開催はあり得ない。開催するならば、その地区を避難指示地区から外してから行うべきではないか。開催に至った経緯を説明せよ。

答 ふるさと振興課長 主催者である実行委員会事務局に確認したところ、予定どおり15時から開催することだった。その後、町内全域を対象とした避難指示が発令されたが、会場である柳田植物公園は土砂災害警戒区域等に該当しないこと、また18時頃には雨が上がり、その予報から、実行委員会の判断で開催された。

能登町防災備蓄計画について 能登町防災備蓄計画の策定目的は何か。また、令和3年3月に改正されたが、改正のポイントは何か説明せよ。

答 総務課長 防災備蓄品の適正配置等の計画である。東日本大震災で、物資の調達や輸送が実施できず、深刻な物資不足への対応が喫緊の課題となっ

た。これを受けて、町では災害対策基本法、能登町地域防災計画等に基づき、今後の防災備蓄の基本的な方針を示すために、平成24年8月に能登町防災備蓄計画を策定した。改正のポイントは2つある。1つは町全体の総備蓄量の半分を防災備蓄倉庫に配備する。もう1つは分散備蓄拠点の見直しである。

防災備蓄倉庫の場所は適切か 防災備蓄倉庫は、近くに上町川が流れ、周りの民家よりも低い場所にある。施設自体も旧上町保育所で平屋建てであり、車での搬出、搬入にも難がある。

能登町防災備蓄倉庫は集中備蓄拠点として適切か。 答 町長 総合的な判断により決定した。

上町川は浸水想定区域が指定されていないうえ、建物も新耐震基準は満たしている。

議会に対しても予算付けをして、決議をいただいた。見直すつもりはない。

※「能登町防災備蓄計画」は5年毎に見直し、新たな課題が生じた場合には、その都度検討を加え修正するとなっている。



河田 信彰 議員

問 地域づくり・宇出津の活性化は

答 港を中心に新たなにぎわいを創出

町長の第2次総合計画「人をつなぎ、地域をつなぎ、未来（あす）へつなぐまちづくり」に基づき、町の創生総合戦略を踏まえた人口減少対策や関係人口の創出など、

答 町長

町長の第2次総合計画「人をつなぎ、地域をつなぎ、未来（あす）へつなぐまちづくり」に基づき、町の創生総合戦略を踏まえた人口減少対策や関係人口の創出など、

少子・高齢化、人口減少が進む中、祭りなど伝統文化の継承や地域行事への参加者が慢性的に不足している。8000人を超えていた宇出津地区の人口も令和2年の国勢調査では4000人を切っている。

問

様々な地域課題の解決に取り組んでいる。宇出津地区の活性化については、旧役場跡地に大屋根広場を整備し、先人より受け継いだ宇出津の港を中心に新たなにぎわいを創出し、以前のよくな活気をもたらすことができるよう努めたい。

問 新キャッチコピーやまちおこしを

答 九十九湾観光の注目を好機とする

問

能登町には、海や山などの豊かな自然と、縄文や、あえのこと、地域の祭りといった文化と伝統産業や特産物など観光資源、魅力が数多く存在する。

イカキングの経済効果が示されたが、ほかにも多くの観光資源があるにもかかわらず、うまくPRできていないのではないかと。能登町のキャッチコピー「海、山、祭、いいこといっぱい能登町」を見直し、今後のまちづくりを進めていく上で、分か

第2次総合計画策定の際には、町民アンケートを実施し、町民の意識、意向などを計画に取り入れており、次の総合計画を策定する際もアンケートを実施し長期的な視点に立った町の方向性について取り組む。

答 町長

まちおこしには観光振興が重要であると考えている。イカの駅「つくモール」、イカキングが話題となっており、野外キャンプの需要も増加してきていることから、九十九湾観光の大きな底上げが図られたと感じている。

これを好機と捉え、町の既存観光資源や事業の

魅力の強化を図りながら、インバウンド、スポーツ合宿、ワーケーションなどの戦略的な誘客に努める。

町のキャッチコピー「海、山、祭、いいこといっぱい能登町」は、能登有料道路の無料化、北陸新幹線金沢開業により、県内外の方々に町を知ってもらい、町を訪れるきっかけとするために作成されたもので、町に興味、愛着が持てるように募集を行い、689作品の中から能登高校生の作品を選定したものである。

今後は「海、山、祭」にプラスアルファしたコピーも考えながら、イベントやPR活動に柔軟に活用していきたい。

問 その他質問

答 町長

建設が具体的ななら支援を検討する。2000社にアンケート調査を送り、前向きな姿勢を示した企業は24社あり、ホテル業を営む企業は3社であった。その3社に対し活動を展開してきたが、コロナの影響もあり進捗はしていないのが現状である。教育旅行や文化スポーツなど各種合宿、全国規模の大会誘致などによる交流人口の拡大を進めていく上で、宿泊施設の確保と充実の必要性は強く感じている。町としては、民間でできることは民間でということ为前提として、ホテル建設の具体的な話があれば、どの程度の支援ができるか検討していく。



キャッチコピーが掲げられた看板 (宇出津地内)

問 高齢者施策のさらなる充実を図れ

答 各施設を利用しやすく努める

問

令和2年12月議会で、「高齢者施策の充実を図り、町の活性化の一助とせよ」と一般質問した。この2年近く、町は、何を実施したのか。

施策として、高齢者の声をもう少し聞き、具体的な働きかけが必要ではないか。

答 町長

各施設の利用料などは、負担の公平の観点から料金設定をしている。新たな施策ではないが、老人福祉施設の笹ゆり荘では、地区により、マイクロボスによる無料送迎をしている。セミナーハウス山びこでは、風呂の整備後、入浴施設利用の高齢者を対象にした料金設定をしている。今後、さらに高齢者の利用しやすい施設となるよう努めたい。



田端 雄市 議員

問 難聴者へ補聴器購入補助をせよ

答 システム構築の体制が困難

問

加齢による難聴者は、専門家の話によると、70歳では、5、6人に一人であり、日常生活に支障をきたしている。高じれば、会話や社会的交流が減少し、うつや無気力、認知機能の低下につながる。そこで、補聴器購入に際して、行政が購入システムを考え、安心、納得して購入できる仕組みを提供するべきだ。

答 町長

難聴者に対しては、障害者自立支援法により、身体障害者手帳などを取得している方に補助制度がある。難聴の程度や補聴器の必要性などを判断する医師の確保が必要であることや、アフターサービスを行う補聴器認定技能者の確保など、現状では困難である。



補聴器 (イメージ)

問 その他質問

IT機器を災害情報収集に活用せよ

8月20日に本町も大雨に見舞われた。被害を受けた方の情報を後日になって聞き、スマホの画像を町へ送っていただければ、住民の危険の切迫感を共有でき、対応もスピーディーであったのではないかと感じた。町もデジタル化が進んではいるが、現状は、庁舎内にとどまっております。町民の利益につながっていない。道路の陥没や河川の状況など住環境の変化などの異常を、日常的にいち早く町へ通報できるように早く町へデジタル改革を進めてもらいたい。

答 町長

D X推進計画策定で、検討する。現在、災害情報の第一報は、住民からであり、そのほとんどが電話による通報である。今回も発生直後では、関係機関との連携、マスコミ対応などが非常に多い。スマホなどのIT機器の活用で、電話対応業務の軽減を図ることができると考える。全国の自治体でも、日常的な通報のシステムを構築しているところもあり、D X推進計画策定の中で、提案を検討していく。

問 公平なポイント還元事業を目指せ

答 経済の好循環を生むため支援する



市濱 等 議員

問 町が取り組んでいる大手決済会社のキャッシュレス決済は、お年寄りやスマートフォンなどに不慣れな方々にとっては恩恵を受けづらいのではないかと。町でもポイント還元が可能なカードを発行している商店連盟がある。ひまわりカードと称しているが、このようなカードを全町内に普及することで、お年寄りにもわかりやすく、能登町商工関係者にとっても多くの利点が生まれ、町の経済が活性化するのではないかと。

答 町長
ひまわりカードは現時

点では内浦商店連盟協同組合に加入する35店舗で利用できる。町民のキャッシュレス決済の促進、行政ポイントの付与など住民に対して多くの利点があるひまわりカードの幅広い促進を図るため、端末機導入の初期費用などにかかる支援を検討している。



ひまわりカード

問 能登消防署の救急体制について



志幸 松栄 議員

答 引き続き救命士を養成したい

問 1署2分署体制を維持していくためには救急救命士の確保が重要な課題と考えるが、現状と今後の職員配置計画の考え、現在の救急救命士の実情について問う。

答 町長

現在、消防本部派遣職

員を除く職員42名のうち、救急救命士は19名おり、数は確保されている。運用勤務形態や同時出勤の要請があった場合、不足することも懸念され職員の年齢等を考慮すると、今後も引き続き救急救命士を養成していきたい。

問 その他質問

問 防災、減災対策の状況は現在の自主防災組織の結成状況と防災士の現状について問う。

答 町長

防災士の育成。
自主防災組織は現在56

の組織が活動を行っており、新たに結成する要望があれば、出前講座等で育成補助事業の内容を含め説明するので、危機管理室へ問い合わせを。防災士として登録している方は361名、うち女性防災士は29・6%と



防災士スキルアップ研修の様子

なっている。今後も防災士の育成研修講座が開催されるので、家族や地域を守るためにもぜひ受講し、防災士として登録してほしい。

金対応は

公立宇出津総合病院における未収金の取り扱いについて、また業務委託している内容を問う。

答 病院事務局長

文書通知、業務委託で行っている。病院の未収金の取り扱いは、文書で毎月、未納者に対し、督促を行い実績も上がっている。

顧問弁護士により業務委託している回収業務については、全納誓約または分納誓約を交わしている。引き続き文書による通知と回収業務委託を続け未収金回収に努めたい。

問 町道・県道の環境整備計画を示せ

答 伐採の計画はしていない

問

①道路脇の法面からの支障木や雑草など交通の妨げになる箇所が当町でもみられるが、除伐計画はないのか。

答 建設水道課長

道路の通行に支障となる木、草に対する伐木、除草については、職員によるパトロールを実施して作業を行っている。除伐は、計画的には行っていないが、町道のパトロール、除雪時等に当たる木で見落としている箇所



堂前 利昭 議員



除草作業の様子

路線、約44kmの除草作業を行っている。

また、一定規模以上の除草作業を行っている町内会に対しては報奨金を支払っている。

各町内会には今後この報奨金を活用していただきたい。

問

②コロナ禍での道路愛護や河川愛護そして人口減少による作業が困難な地域をどうするのか。

答 建設水道課長

今年度より、地区間を結ぶ幹線道路10路線、約22kmの除草業務を追加して、地区の負担軽減を図っている。町全体では19

問

③バックホウなど建設機械にアタッチメントを取り付けた機械の購入や必要に応じてリースとして使用することは出来ないか。

答 町長

経費や効率を考慮して、機械の導入、リースも含め、また運用方法について検討する。

問 町保有の住宅分譲地の現状は

答 姫、小木地区に15区画

円である。そのほかに宇加塚の宅地分譲地9区画で5983.83㎡を957万3,600円で売却した。

残区画数は、姫地区と小木地区15区画である。

問

②珠洲道路沿いに町の保有する土地は、ないのかあるなら、住宅分譲地に造成できないか。旧柳田小学校を解体した後、分譲地にできないか。

答 町長

珠洲道路沿いにはないが、町保有の土地を宅地として売却できる土地もある。個別に対応する。旧柳田小学校の裏の斜面は、土砂災害警戒区域なので適さない。

解体後は、柳田保育所の利便性の向上のため外構の整備を行う予定で、分譲地とする予定はない。

問 その他質問

国民文化祭による町内の計画は

①来年行われる国民文化祭の内容と来訪者についてどうなっているのか。

答 教育委員会事務局長

令和4年2月15日に町実行委員会を組織して協議したところ、町指定文化財「ごいた」に関すること、日本酒や発酵食に関するところで企画を進めている。来訪者については、延べ5000名程度を見込んでいる。

②沢山の外国人などの来訪が予想されるが、インバウンドの準備を徹底せよ。

答 ふるさと振興課長

令和2年3月にトイレ表示や適切な使用方法を理解してもらうよう、イラストを多言語化したチラシのデータを能登町ホームページに公開した。どなたでも自由にダウンロードして利用でき、主に観光事業者を対象としている。令和3年度までは、宿泊施設のトイレの洋式化や、ワイファイ整備などを対象とした各種補助金制度を設けた。本年度は外国人観光客等おもてなし向上プロジェクトとして、コロナ収束後を見据えたインバウンド需要等を見込み、トイレ洋式化を行う飲食店への支援制度を設けている。

答 企画財政課長
令和元年度1件、令和2年度1件、令和3年度がゼロ件の合計2件である。
姫上野台2件で315.65㎡、86万8,090

①町保有の分譲地の販売金額、場所、面積を示せ。直近3年間の販売実績と残数を示せ。



向峠 茂人 議員

問 能登町の進むべき道は

答 子育て環境の充実に取り組む

問 人口減少が進む中、将来の具体的な行政規模と具体的な政策は。

答 町長

ダウンサイジングは町のインフラ整備に係る経費を削減する意味では良い施策である。創生総合戦略において2040年の人口規模を1万人と設定し、下回らない対策として各種施策を講じている。

その施策の一つが子育てにやさしい町づくりである。老朽化が進んだ保育所を統合し、保育環境



ワーケーション (イメージ)

を一新する。

また、妊娠・出産時の検診に係る交通費の助成や、子育て支援アプリの導入など子育て環境の充実を図る。その他、関係人口の創出や移住定住施策を主要事業として取り組んでいる。

問 道の駅「桜峠」の利便性を図れ

答 関係部局と協議している

問 道の駅「桜峠」、柳田植物公園、イカの駅「つくモール」を点から線にくモール」を点から線に。

答 町長

観光、防災、地域の活性化の観点から、道の駅の果たす役割は大変重要となっている。道の駅「桜峠」は完成から長い時間が経過しており、利用状況も変化していることから、道路管理者である県と相談し、将来を見据えた道の駅の在り方について協議している。

柳田植物公園、イカの駅「つくモール」について、道の駅への登録は国土交通省が所管であり、近隣の道の駅からの距離が要件の一つとなっている。柳田植物公園とイカの駅「つくモール」は珠洲道路から九十九湾まで



道の駅「桜峠」

をつなぐ観光交流、人口交流を呼び込む上で重要な施設のため、前向きに検討したい。

問 その他質問

町内を巡回すべきである

る

「この心 この町に物語のあるまちづくり」をスローガンに掲げているが、物語実現のためには対話をしっかりと。

答 町長

今以上に地域に足を運ぶ。

この役に就き約1年半、いろいろな会議や会合、地域の行事に出席し、様々なご意見、提言、励ましをいただいている。住民からの意見については、まず自分で確認のため現場に行くようにしている。見かけることがないというのであれば、まだ足りないということであるので、今後も地域に足を運んでいきたい。出前講座を利用してもらい、直接、住民の意見をききたい。



宮田 勝三 議員

問 関係人口創出に係る現状は

答 ワークেশョンに取り組んでいる

問

第2期能登町創生総合戦略に掲げる戦略の関係人口創出にかかる現状は。

答 町長
ワーク（働く）とバケーション（休暇）を組み合わせた「ワークেশョン」を軸に取り組んでいる。活動拠点となるノックロスポートにおいて、

のと未来会議やローカルソフトアカデミーなどを開催し、移住定住案件を含め822名の利用があった。能登町創生総合戦略を踏まえた人口減少対策や関係人口の更なる推進とDX（デジタルトランスフォーメーション）を見据えて取り組んでいる。



のとクロスポート

問 DXがもたらす未来像は

答 「複業」に注目している

問

DXと関係人口創出の取り組みは町の未来を左右する。町長のイメージする能登町の未来像は。

答 町長

テレワークやワークেশョンに加え、DXがもたらす「複業」という新しい働き方に注目している。「複業」をする人材と町内事業者をマッチングすることで、経営課題の解決が図られ、新たな関係人口の創出につながると考えている。

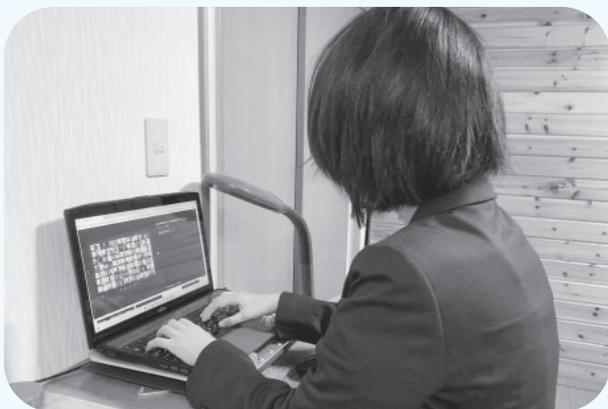
問

総合計画、創生総合戦略を踏まえ、総合的に関係人口がもたらす能登町の未来像は。

答 町長

総合計画、創生総合戦略の基本方針のもと、各種事業に取り組んでいる。のと未来会議、ローカルソフトアカデミー、首都圏企業研修等によるワークেশョンを通じた関係人口の創出にDXを加え

ることで、「複業」による2拠点居住などが新たな人の流れをつくる。「人をつなぎ、地域をつなぎ未来（あす）へつなぐまちづくり」が生まれ、能登の暮らしが受け継がれると思っている。



テレワーク（イメージ）

決算特別委員会を設置し令和3年度会計決算を認定

地方自治法第233条により提出が義務づけられている書類を検閲し、関係課等から説明を聴取した上で、予算執行が適正にかつ効率的に行われたかについて慎重に審査した。審査過程において、本委員会からの主な意見、提案等については次のとおりである。

- ① 令和3年度に策定した公共施設個別施設計画に基づき、次の世代に負担を先送りしないよう、町民への丁寧な説明や理解を求めつつ、持続可能な将来へのまちづくりを推進されたい。他方で、公共施設のみならず各地域の大きな問題として、老朽化した空き家対策においても、避けて通ることはできない喫緊の課題である。空き家は個人の財産であることや法律等の制約があり困難を極めるが、行政として今一步踏み込んだ政策を期待する。
- ② 職員の定員適正化事業及び職員研修について、新規採用職員や若手職員の人材育成を強化すると共に、職場内においてハラスメント等が起らないよう十分な研修を行い、働きやすい職場環境の構築に努められたい。また、職員の定数削減により住民サービスが低下することのないよう、全庁的にDXを加速化し、職員の負担軽減や働き方改革、さらには町民に向けての災害等の緊急時の対応、行政手続きの利便性向上を図られたい。
- ③ 水道・下水道事業について、生活をする上で欠かすことのできない重要なライフラインであることは言うまでもないが、今後の人口減少を見据え、維持管理や財政的負担の観点から、今後のビジョンを明確に定め、費用対効果を十分に精査し長期的な計画をもって持続可能な経営を図られたい。
- ④ 病院事業について、新型コロナウイルス感染症の対応で医療現場は大変な心労があったであろう。職員の心身のケアに努めると共に、引き続き接遇研修等を実施し、患者に寄り添った親切で丁寧な対応を心がけ、町民が安心して来院できる環境の構築に努められたい。

終わりに、前年度に引き続き、通常業務に加えて新型コロナウイルス感染症対策に追われ苦慮されたことと推察する。特に学校現場においては学習面や学校行事など創意工夫をし、大変な苦労をされていることと思うが、能登町の未来を担う子どもたちが、コロナ禍の影響により学力の低下や、貴重な経験をする場が奪われることのないよう、万全の体制でフォローしてもらいたい。

また、各地域においては高齢化が進み、地域行事やボランティア活動を行うにも大変な負担を強いられている。そういった地域の困りごとや課題に対し、しっかりと耳を傾け具体的な支援や解決策を打ち出し、今まで以上に町民に寄り添った町政を運営されることを要望し、決算特別委員会からの総括とする。



決算特別委員会	委員長	田端 雄市
	副委員長	馬場 等
	委員	吉田 義法
	委員	堂前 利昭
	委員	市濱 等
	委員	小路 政敏



議案をチェック

9月定例会議の議案質疑

馬場 等 議員

「外国の地方公共団体の機関等に派遣される能登町職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例について」、能登町の職員で実際に外国に派遣されたことはあるのか

総務課長

外国の地方公共団体の機関には、実際に能登町職員は派遣されたことはない。
例えば、県の外国事務所もあるので、そういうところに派遣された場合には該当する。

総務産業建設委員会

小路政敏 (委員長)
堂前利昭 (副委員長)
田端雄市 國盛孝昭
酒元法子 河田信彰
志幸松栄

問

小型除雪機の購入の申請時期について示せ。

冬場になってからの申

答

10件である。平成25年に2件、平成30年に1件、令和元年に1件、令和2年に2件、令和3年に4

問

小型除雪機の補助実績を示せ。

請は、機械自体がないことが想定されるため夏場のうちに申請を。

答

農地災害復旧費は、1258万円。国の補助を受けて、当日、松波、五十里地区を復旧する。その実施設計や委託料に関して8万円、工事請負費

件となっている。

除雪機購入にあたり、購入者の負担割合はいくらか。

問

補助率は4分の3、限度額は60万円。いずれが少ない方となる。



問

災害復旧費を説明せよ。

答

令和4年6月19日から20日にかけて珠洲市を震源とした能登地方地震災害、これと7月12日に能登町の東部に発生した豪雨災害に係る農地及び農業用施設災害の復旧費計上になる。

問

農地災害復旧費は、1258万円。国の補助を受けて、当日、松波、五十里地区を復旧する。その実施設計や委託料に関して8万円、工事請負費

として1250万円を計上している。

用水、ため池等の農業用施設災害復旧費は、1356万円。国の補助を受けて水路、農道、頭首工、ため池など4件で、松波、行延、時長、秋吉

の4地区である。実施設計など測量増額分で16万円、工事請負費で1210万円を計上している。また、町単独分として5件で130万円を計上している。

教育厚生委員会

市濱 等 (委員長)
吉田義法 (副委員長)
馬場 等 金七祐太郎
向峠茂人 宮田勝三
鍛冶谷真一

問

新型コロナウイルス4回目接種分の補正の対象者は誰か。

答

4回目接種の対象は60歳以上の方と18歳以上60歳未満で基礎疾患がある方。今回の補正は医療従事者と高齢者施設の従事者分である。

問

能登町立小・中学校教育環境づくり検討委員会

か。開けた会議が行われるべきだ。



農地災害

問

どちらも傍聴はできない。町の校長会は、校長の研修の場である。教育委員会は教育長が来賓として出席し、講話を行い、事務局からは連絡事項を伝え、その後は退席している。

問

事業実施にあたる財源の確保について、各課の関わりは。

答

所管課ではそれぞれで国や県の補助事業を把握しているが、それ以外の財源については企画財政課で有利な起債を利用するとともに自己財源を割当っている。寄付金や負担金、使用料など所管課で直接、徴収等ができるものについては把握している。

「議会と語ろう会」 を開催します

地域における要望など あなたのお声を お聞かせください。

日時 12月6日(火) 午後6:00～
場所 ● 能登町役場 2階 大集会場
● 柳田公民館 3階 多目的ホール
● 内浦総合支所 ホール

能登町議会では、議会活動をご理解いただくとともに、町民の皆様の意見を議会活動に反映させることを目的に「議会と語ろう会」を開催します。議員が3か所の会場に分かれて皆様の声をお伺いします。

- ・まちづくりに関すること
- ・能登町議会に関すること
- ・その他、地域の困りごと、町の重要な事項に関すること

※事前に申し込み等の必要はありませんので、お気軽にお越しください。

【感染症まん延等の理由により、やむなく中止となる場合があります】

問い合わせ先：議会事務局 ☎62-8540



議会と語ろう会 (令和3年10月20日)
昨年は町会区長会との意見交換会を開催した

7月から9月の主な議会活動

7月8日 流山市議会表敬訪問（来町・9日まで）

7月13日 オンライン研修

富山県滑川市議会行政視察（来町）

7月19日 教育厚生常任委員会管外視察（東京都・21日まで）

7月20日 広報編集特別委員会

7月22日 石川県戦没者慰霊式（いしかわ総合スポーツセンター）

7月28日 議会運営委員会・全員協議会

第5回能登町議会7月会議

8月2日 議員・監査委員合同研修会

（津幡町文化会館）

8月23日 能登町子ども議会

8月24日 議長・副議長・委員長研修会

（地場産業振興センター）

8月26日 議会運営委員会

8月29日 議員全員協議会

9月2日 第6回能登町議会9月定例会議

会議（議案上程）

9月5日 各常任委員会

9月6日 決算特別委員会（～8日まで）

9月12日 第6回能登町議会9月定例会議（一般質問）

9月14日 第6回能登町議会9月定例会議（採決）

9月26日 石川県町村議会議長会臨時総会・議長協議会

（地場産業振興センター）



令和4年度出欠状況表

○…出席 欠…冠婚葬祭 通院 私事都合等により欠席 公…他の公務あり 一…対象外 オ…オブザーバーとして議長が出席

月 日	会議名	議員名													
		吉田 義法	堂前 利昭	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	國盛 孝昭	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	宮田 勝三	鍛冶谷 眞一
4/7/20	広報編集特別委員会	欠	○	公	—	—	—	—	—	公	○	—	—	—	○
4/7/28	議会運営委員会	—	—	—	○	○	○	○	○	オ	—	—	—	○	—
4/7/28	議員全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4/7/28	7月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4/8/26	議会運営委員会	—	—	—	○	欠	○	○	○	オ	—	—	—	○	—
4/8/29	全員協議会	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4/9/2	9月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
4/9/5	各常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
4/9/6	決算特別委員会	○	○	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—
4/9/7	決算特別委員会	○	○	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—
4/9/8	決算特別委員会	○	○	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—
4/9/12	9月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
4/9/14	9月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

まちかど

インタビュー



樹上作業・伐採 樵屋 上端 修平さん

今回のまちかどインタビューは、Uターンして7年目に、
樹上作業・伐採「樵屋」の一人親方・上端修平さんです。
(インタビューアー 酒元 法子)

樹上作業・伐採 樵屋
—俺が、伐らんと。誰が、伐るん！—

◆「樵屋」とは、具体的にどんなお仕事をされるのですか？

樹上作業の伐採を専門に行っています。神社仏閣や個人宅のお庭まで、おかげ様で幅広くお仕事をさせていただいています。6年間、能登森林組合で働かせていただき、能登の山や樹木の大切さを体で感じることが出来る



樹上で作業をする上端さん

◆これからのチームづくりを教えてください。
10月から30〜40歳代の一人親方5人衆で、お互いを最大限にリスペクトしながらネットワークを活用して、樹上作業・伐採を行っています。一人親方がそれぞれの魅力を



高い木での作業

高い木の上が、とにかく心配です。ケガしないように最善の注意と最良の安全器具を使ってください。後は、仲間の皆さんと仲良く仕事してください。

◆最後に一言お願いします。
町には多くの自然公園などがあり、自然に親しむことが出来るので、非常に恵まれているように感じます。希望として雨天の時にでも遊べる公園があると良いですね。(家族から)

次の定例会議は 12月6日開会予定です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。傍聴にお越しの際は、マスクの着用、手指の消毒等、感染症対策にご協力をお願いします。

広報編集 特別委員会
委員長 鍛冶谷員一
副委員長 堂前 利昭
委員 吉田 義法
馬場 等
酒元 法子
河田 信彰

編集後記
日本全国のみならず世界中からも話題となっているイカキング。時代の流れは加速しているが、人は故郷を思う気持ちは変わらない。行く先々でイカキングの話多く。「これは騒がれ勝ちですよ。」と言われた言葉が身に染みた。今、議会は改選し、里を思う者が集う新しい風の中、イカキングはいつもの様に微笑んでいる。
(委員 酒元 法子)